

## 令和2年度第3回白井市情報提供計画策定委員会議事録

- 1 開催日時 令和2年12月24日（金） 午後1時00分から午後2時40分
- 2 開催場所 Zoomを利用してオンラインで開催  
事務局は市役所本庁舎3階 会議室301
- 3 出席者 高橋会長、原田副会長、長野委員、市川委員、手塚委員、小野寺委員
- 4 欠席者 0人
- 5 事務局 川村総務課長、宇藤主査補、苛原主任主事
- 6 傍聴者 2人
- 7 議 題

議題1 パブリックコメントの実施結果報告について

議題2 白井市情報提供計画の策定について

その他

### 8 議事

#### 1 開会（13：00）（進行：事務局）

白井市附属機関条例第6条第2項の規定により、委員の出席数が定数に達しているため会議が成立することを報告。

白井市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、会議は全て公開することについて了承を得る。

#### 2 議題（進行：高橋会長）

##### （1）パブリックコメントの実施結果報告について

（事務局よりパブリックコメントの実施結果について説明）

事務局 令和2年12月1日（火）から12月14日（月）までの14日間パブリックコメントの募集を行った。

実施にあたっては市ホームページ、各センターへの掲示の他、メール配信サービス、市公式LINE、Twitter、e-モニター制度を利用し市民へ周知した。募集期間中にメールで2件の意見提出があり、1件は参考、1件は修正とした。

修正については「障害者に対する情報提供ができなくなる懸念があるという課題に対する取り組みの記載がない。障害者は情報を入手しにくいので障害者への取り組みを盛り込んでほしい。」という意見に対し、計画案11ページに「（4）非接触型コミュニケーションの増加に係る配慮」を追加し、白井市障害者計画に基づく情報提供の充実を図る等の対応を追記した。事務局からは以上。

会 長 各委員からご質問、ご意見があればお願いします。

- 委員 11ページは新型コロナウイルス感染症をきっかけとした課題のページのため、新型コロナウイルス感染症が収まった後には対応しなくなるという雰囲気が出てしまうので、追記場所を別にした方が良くはないか。
- 事務局 あくまで新型コロナウイルス感染症をきっかけとして明らかになった課題であり、感染症が収まった後も引き続き対応は続けていく。
- 委員 非接触型コミュニケーションという言葉があるが、逆に対面でのコミュニケーションによる情報提供にはどんなものがあるのか。
- 事務局 市民参加の会議や、窓口でのやりとり、市職員による訪問等がある。そういった対面でのコミュニケーションでは個人の事情に配慮した対応がしやすいが、非接触型のコミュニケーションでは個別の対応が難しいことが課題という認識。
- 委員 本計画についてメディアを使った情報提供が主で、メディアを使わない対面型コミュニケーションについてはあまり考えなくて良いという認識だった。
- 事務局 計画の中にはメディアを利用したものだけでなく、対面も含めた情報提供も含んでいる。
- 委員 障害がある方でもITを使いこなしている方もいる。一概に障害のある方ということでは無く、情報弱者に対する配慮が必要と考えるがどうか。
- 事務局 あくまでパブリックコメントへの対応として修正を行っているため、障害のある方への対応として記述している。情報弱者への対応については計画全体を通して考えていくべき課題と認識している。
- 委員 パブリックコメントを出した方は、自分の意見がどのように反映されたかわかるのか。
- 事務局 パブリックコメントでいただいた意見への対応は市ホームページで公開する予定。

## (2) 白井市情報提供計画の策定について

(事務局より白井市情報提供計画の策定について説明)

- 事務局 パブリックコメント後に修正した主な箇所は以下のとおり。
- ・目次にページ数を記載。
  - ・1ページ、市民と行政の並びについて、市民が先に来るよう修正。
  - ・11ページ、(4)非接触型のコミュニケーションの増加に係る配慮を追加。
  - ・15ページ、計画のイメージ図として「市民と行政の双方向の情報交流で目指す姿」を追加。
  - ・17ページ、一覧内の名称を一部変更。
  - ・18ページ、白井市の主なオンライン情報提供サービス二次元バーコード一覧を追加。

- ・ 19 ページ、計画策定過程を追加。
  - ・ 20 ページ、白井市情報提供計画策定委員会委員名簿を追加
  - ・ 背表紙を追加。
  - ・ その他表現の揺れがあった文言の統一、てにをはの修正等。
- 事務局からは以上。

- 会 長 各委員からご質問、ご意見があればお願いします。
- 委 員 グラフが複数選択と単一選択が混在しているため、文中でどちらか示した方が良いのではないかと。また、二次元バーコードのページはレイアウトを見直した方が良い。
- 委 員 防災行政無線の記述が消えているが何故か。
- 事 務 局 防災行政無線は個別に項目を設けていたが、前回会議後に庁内で調整した結果、防災行政無線のみを個別項目とすることに違和感があるという意見があり削除した。パブリックコメントにおいても防災行政無線について意見が来なかったため、記述は見送ることとなった。
- アンケート等で防災行政無線が聞こえにくいという意見が 10 件程度あったことについては担当課とも共有しており、今後計画の見直し等の中で取扱いについて検討していく。
- 委 員 「情報提供」と「情報の提供」という言い方があるが、市が行うのが「情報提供」、市民が行うのが「情報の提供」という認識で良いか。
- 事 務 局 御認識のとおり。
- 委 員 それならば、13 ページのグラフ内の設問等も修正するべきではないか。
- 事 務 局 アンケート実施時の文言で表記していたが、文章に合わせて修正する。
- 委 員 YouTube 等ローマ字表記が全角となっているが半角の方が良いのではないかと。
- 委 員 全角半角と合わせて大文字小文字も正確な表記に修正した方が良い。
- 事 務 局 ご指摘のとおり修正する。
- 委 員 15 ページに追加した計画イメージ図について、計画の推進にあたっての最初に来るべきではないか。
- 最初に目指すものを示し、それに対してどう進めていくかという流れの方が自然だと感じる。
- また、情報提供の検証、実施体制の順で記載されているが、実施体制を先に示し、その後検証等の実施内容を書く方が良いのではないかと。
- 委 員 市の福祉計画等他の計画を見ると、目指すべき姿は計画の最初に示されている。本計画でもイメージ図については 1～2 ページ目辺りに入れるのが良いのではないかと。
- 委 員 このイメージ図については、アンケート結果等も踏まえた内容になっているため、VI 章の計画の推進にあたっての最初に示す形の方が良いのでは。
- 会 長 VI 章の計画の推進にあたっての冒頭にあるほうがバランスが良いと感じる。
- 委 員 庁内で調整した部分はどこになるか。

- 事務局 内部で調整した箇所については、「防災行政無線」や「市長への手紙」等の個別具体的な表現について各担当課と見直しを行った。
- 委員 検証についてどの部署がリーダーとなって進めるかが不明確。誰が、いつ、どのように行うかの概略があれば計画の推進に期待が持てる。そのあたりのことについて記載する必要があるのではないかと。
- 事務局 先ほどの委員のご指摘にも絡んでくるが、取組の中心となるのは「本計画の所管部署」と「情報発信担当部署」のふたつ。個々の情報の発信方法によって検証の期間や方法が変わってくるため、本計画の中で具体的にいつ、どのようにを示すのは難しいと感じる。
- 委員 情報の発信元の課等毎にバラバラと検証を行うということか。見直しにおいてはアンケートを実施するとあるが、これもバラバラに行うのか。
- 事務局 アンケートについては計画全体の見直しに関わる部分なので、「本計画の所管部署」と「情報発信担当部署」が中心になって実施する。
- 委員 「本計画の所管部署」は総務部総務課で良いか。
- 事務局 現時点では御認識のとおり。
- 委員 「情報発信担当部署」はどこになるか。
- 事務局 現時点では秘書課だが、今後の組織変更等に備えこのような書き方にしている。
- 委員 総務部総務課を主担当に定め、計画の推進や見直しについて音頭を取っていく必要があるのではないかと。
- 会長 検証について、各部局で実施を想定しているとのことだが、完全に任せてもなかなか回らない。スケジュールを切る等、主担当の課が音頭を取った方が良いのではないかと。
- 事務局 計画策定完了後には策定の主管課であった総務課と秘書課が中心となり、計画の周知や推進を行ってければと考えている。
- 委員 過去に市民活動推進委員会をしていた際に、パブリックコメントの実施報告等を各課で実施しているかチェックをしたことがあった。その委員会の中で本計画の実施状況についてもチェックできるのではないかと。
- 委員 組織変更等の事情もあり、ぼかす部分は必要かとも思うが、やはりどこか一つの部門がリーダーシップを取るべきだと思う。複数の課を定めてしまうとなかなか進まない。
- 事務局 事務局内で再度検討する。
- 委員 15ページのイメージ図について今の位置だと、他のページのなし坊等のイラストと同じ程度の位置付けに感じてしまうので上の方が良い。イメージ図内の【行政から市民への情報提供】は【行政から市民への情報提供手段】とした方が良いのではないかと。市民と行政の間の枠で囲まれた部分が目立たないので別にする等した方が良いのではないかと。

- 委員 行政から市民への矢印が上、市民から行政への矢印が下というのはいかなるものか。
- 事務局 文章に合わせて、市民を左、行政を右に入れ替える。これにより矢印も市民が上、行政が下になる。
- 会長 10ページについて、「行政が提供したい情報」という表現があるが、違和感がある。
- 事務局 1ページにも同じ表現があるので、そちらと合わせて「行政が提供する情報」という表現に修正する。
- 会長 6ページのアンケートグラフについて、全体の数値が一番左に来る方が説明文の流れとも合って見やすい。
- 委員 「行政が提供したい情報」は「行政が提供すべき情報」と言い換えた方が良いのではないか。
- 事務局 「すべき」という表現が強すぎる印象がある。内部で検討したい。
- 会長 防災行政無線や市長への手紙等、これまでの議論の中で出た具体的な話が計画の中に反映できなかったので、計画の推進にあたって総務課でフォローをお願いしたい。
- 委員 検証についてはハードルを上げず、担当課や委員の皆様が年に一度対話の場を設ける等でも検証の場になる。
- 委員 これから計画を実行するにあたり、情報提供について市民が日頃から困っていることを吸い上げ、それに対する対応を市が開示する等、双方向に進めて欲しい。
- 委員 今後、市から市民への情報の提供に関して、これまでと違った視点で意識しながらLINEや広報しろいを見ていく。
- 委員 今後、デジタル化がどんどん進んでいき、それに合わせて情報提供もデジタルに収斂されていくと思う。行政としてどの段階でどういう風にデジタルに舵を切るかが大きな課題になるということを心にとめ実施して欲しい。
- 委員 表現について例えば16ページ、3.「いつ」の中で「・提供する情報について、提供期間は適切か」とあるが、提供する情報についての話をしているので「提供期間は適切か」だけで良いのではないか。ここ以外についても重なる言葉は極力省いた方が良いと感じる。
- 事務局 文章について御指摘の箇所について内部で再度確認する。
- 委員 デジタル庁等、社会全体のデジタル化が進む中で、市も後れを取らないよう計画を進めて欲しい。デジタルのツールについては、用意するだけでなく、できるだけ使ってもらえるよう、市も努力が必要。

情報提供について各部署で個別に進めている印象があり、全体を統括できるような部署があれば良いと感じた。

### 3 その他連絡事項（進行：事務局）

事務局 本委員会の中でいただいたご意見については、修正した内容を各委員へ後日送付し、その承認をもって計画策定完了とする。

### 4 閉会（14：30）